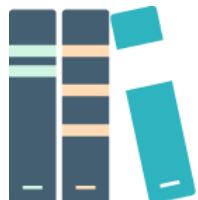


# はじめての 翻訳

翻訳の発注時に確認すること・  
用意するもの



# はじめに

翻訳を発注する際に、確認することや用意するものが明確でなければ、希望通りの品質の翻訳を適正な価格・納期で得ることはなかなかできません。

はじめての翻訳でも困らないように、翻訳発注時のヒントをまとめました。  
ぜひご活用ください。

翻訳料金って、どのくらい  
かかるんだろう？

翻訳会社もたくさんあるけど、  
どこに頼めばいいんだろう？

データは用意したけど、  
あとは何を伝えればいいの？



# 翻訳の基本①

一般的には、かけたコストや時間に比例して、翻訳の品質は向上します。

かけられるコストや時間には限りがありますので、どこまでの品質が必要なのか（ミスの許されない重要な文書なのか、意味さえ通じればよい文書なのかなど）を明確にし、コストや時間を適正にすることが大切です。

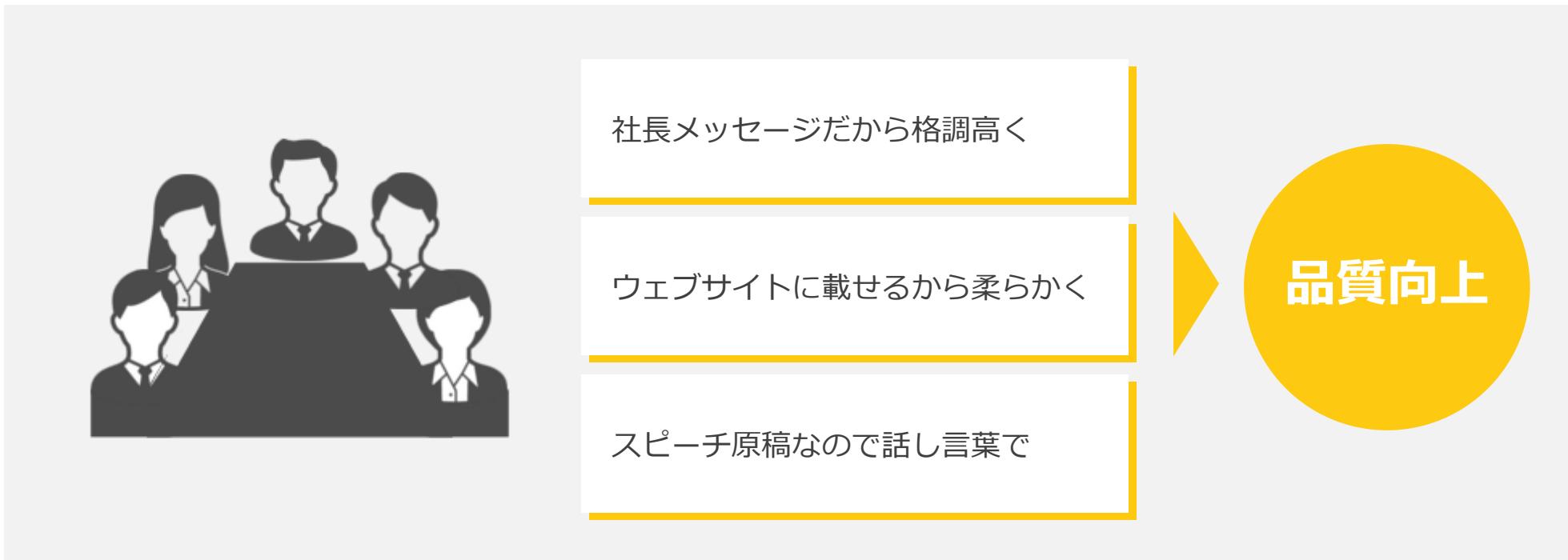
品質は、コストや時間に比例する



## 翻訳の基本②

一方、情報を的確に伝えることで、コストや時間を抑えながら用途に合った翻訳をすることも可能です。

その翻訳を誰が読むのか、どういう場面で使うのか、どういう背景があるのかなど、要件の伝達の度合いで翻訳の品質は大きく左右されます。



# 翻訳の流れ

## Step 1 要件の整理

翻訳の範囲や仕上がりイメージ、参考資料はあるかなど、発注先に相談する前に翻訳の要件を整理します。

## Step 2 翻訳会社の検討

要件に合った発注先を探し、要件を伝えて見積もりを取得します。

## Step 3 翻訳会社の決定

見積もり内容や管理体制などを踏まえ、どの翻訳会社に依頼するかを決定します。

個人経営から数百人規模の会社まで、国内の翻訳会社は2,000～4,000社といわれます。幅広い分野を扱う会社もあれば、特定の分野や言語だけを扱う会社もあり、最近ではクラウドソーシングの翻訳サービスも登場しております。

## 価格や納期で決めるなら…

- 翻訳は人間が行うため、価格や納期はどの翻訳会社も大きく変わりません。翻訳者のスキルが高ければ価格は高くなり、逆に低ければ安くになります。納期は、どれだけ作業者を投入できるか、どの作業を簡略化するかなどによって前後します。
- クラウドソーシングの翻訳サービスなどで極端に価格が安かったり、納期が早かったりする場合、翻訳者がプロでないケース（学生や留学生、サイドジョブなど）や、品質チェックが入っていないケースがあります。
- 品質を優先するか、価格や納期を優先するか、用途に応じたリスクマネジメントも重要になります。

## セキュリティ対策や品質で決めるなら…

- ビジネスに関わる翻訳の場合、機密保持契約書を締結するなど、セキュリティについても考慮する必要があります。さらに注意するのであれば、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）に関する国際規格の認証やプライバシーマークを取得しているかも確認しましょう。
- 最近では、翻訳業者の品質基準を定めた国際規格ISO17100の認証を取得した翻訳会社も増えています。どのような品質管理を行っているかは、翻訳会社を選択する重要なポイントです。翻訳会社は無償のトライアル翻訳を行っていますので、品質を優先する場合はトライアルで確認することもおすすめです。

# 翻訳会社の探し方、選び方

- 最近では機械翻訳の精度も高くなっています。用途によっては、機械翻訳を選択肢に考えられる時代になりました。
- しかし、ビジネスの現場で使うには品質的にまだ問題が多いことも事実です。翻訳後の修正（ポストエディット）に手がかかり、結果的に人間が翻訳した場合とコストが変わらないこともあります。
- 機械翻訳を選択する場合、品質は用途に見合うのか、リスクはないかなど、よく検討をする必要があります。



# 見積り時に何を伝えればいいの？

## 翻訳の対象範囲

- 対象範囲の指定がなければ、原稿の全てを対象とした見積りが行われます。どこからどこまでを翻訳するのか、翻訳しなくてよい部分や原語のまま残しておいた方が良い箇所など、範囲を明確に伝えましょう。
- もし不明な場合は、例えば図表を翻訳する場合としない場合というように、複数のパターンの見積りを依頼することもできます。

### 「実は翻訳しなくても良かった」という一例

- 図や表の中
- ヘッダー、フッター
- リファレンス
- ボイラープレート
- 索引
- PowerPointのノート部分

# 見積り時に何を伝えればいいの？

## 何語から何語か

- 同じ言語でも、国や地域によって翻訳する文字が異なるケースがあります。アメリカ英語とイギリス英語があるように、中国語でも中国本土で使う中国語と台湾や香港で使う中国語は違います。スペイン語やポルトガル語も、ヨーロッパで使う言葉と南米で使う言葉では少し異なります。
- どこの誰に向けて使う文書かを必ず伝えましょう。

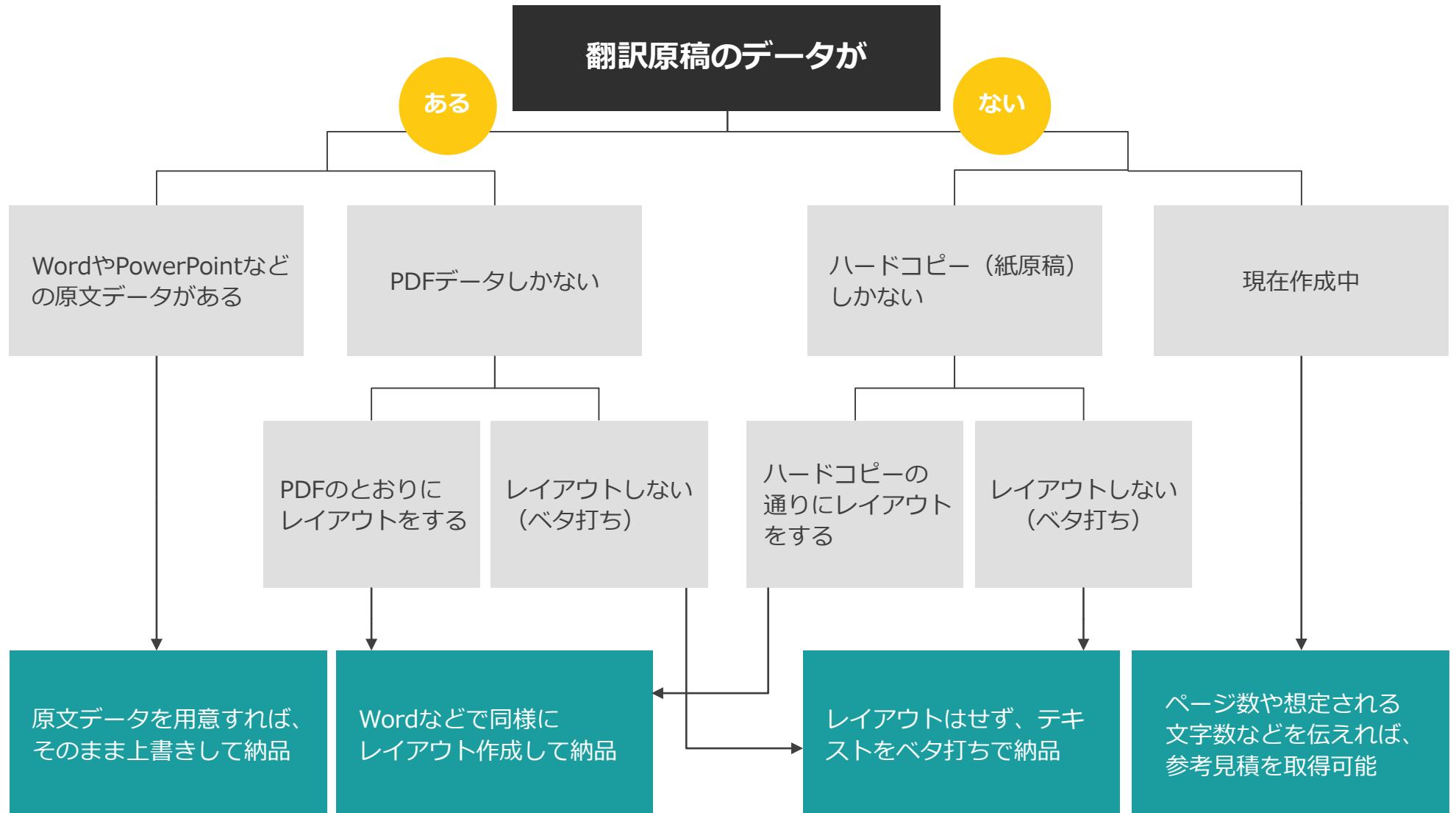


# 見積り時に何を伝えればいいの？

## データの有無

- 原文と同じレイアウトでの納品が必要な場合、そのまま上書きができる原文データがある場合とない場合では、価格と納期が変わってきます。
- PDFの場合は上書きができないため、適切なソフトウェアでレイアウトを作成し直す必要があります。
- 余計な費用をかけないためにも、原文データは用意しましょう。元データがない場合は、要望に応じたレイアウトの作成を翻訳会社に依頼してください。

# データの有無による対応の違い



# 見積り時に何を伝えればいいの？

## 用語集や参考資料の有無

- せっかくお金を払って翻訳しても、修正に時間がかかったり、最初から翻訳し直すことになってしまっては元も子もありません。
- これらのリスクを軽減するために、用語集やスタイルガイド、翻訳する文書の参考資料などを提示するようにしましょう。
- もし用語集やスタイルガイドがなくても、社内で使っている訳語や表現・表記などの指定があれば、翻訳に活用することができます。

「コンピューター」と伸ばすか、  
「コンピュータ」で止めるか？



「オペレーションマニュアル」にするか、  
中黒を入れて「オペレーション・  
マニュアル」にするか？

# 見積り時に何を伝えればいいの？

## 希望納期

- 1日に翻訳できる文字量は英文和訳で原文2,000ワード、和文英訳で原文3,000字が平均といわれます。例えば10,000ワードの英文の翻訳であれば、5日はかかります。そこにはチェック作業やレイアウト作業は含まれていないため、納品までにはさらに数日かかります。
- 短納期の場合には、複数の翻訳者で翻訳する方法もありますが、複数の翻訳者で作業をすると用語や表現の統一でデメリットも発生します。
- 希望の納期を伝え、何ができて何ができないかなど、翻訳会社の担当者と相談をしましょう。

用意するもの・確認することの準備が整いましたら、まずは翻訳会社に相談してみましょう。

- 翻訳会社は日々お客様の様々な課題を解決しています。価格と納期と品質のバランスを考慮した最適な提案をしてくれるはずです。
- 過去の翻訳データを有効活用したい、用語集やスタイルガイドを作りたい、そうしたお客様の環境整備も翻訳会社の仕事のひとつです。
- 最近では、機械翻訳にポストエディット（人間によるレビュー）を加えた翻訳事例も増えています。ウェブ上の機械翻訳はセキュリティ的に不安が残りますが、セキュリティ対策を講じている翻訳会社であれば安心です。